

国指定重要無形民俗文化財

淡路人形浄瑠璃

出演 淡路人形座

高知公演

◆ 演目 ◆

戎舞
傾城阿波の鳴門

みんなで楽しむ、人形浄瑠璃

人形浄瑠璃を初めて見る方でも大丈夫！上演中に大夫や三味線、人形について分かりやすく解説する時間を設けています。



高知市立

自由民権記念館

【民権ホール】

2022年
11月19日(土)

開場 13:30 開演 14:00

全席自由

未就学児の入場はご遠慮ください

一般 / 前売り 1,500円 当日 2,000円
高校生以下 / 前売り 500円 当日 700円

主催・お問い合わせ

公益財団法人高知市文化振興事業団
TEL:088-883-5071 <http://www.kfca.jp/kikaku>

【来場の皆様へお願い】

新型コロナウイルス感染予防策として、本公演来場時は、マスクの着用、入口での手指の消毒、非接触式体温計による検温等にご協力お願い申し上げます。

淡路人形浄瑠璃

五百年の歴史を誇り、国指定重要無形民俗文化財でもある淡路人形芝居の由来は色々な説がありますが、鎌倉時代、淡路島に大阪四天王寺より舞楽など神事を生業とする楽人が移り住み、その後西宮の戎神社に属したエビスカキから人形操りの人気が高かったため神事を人形操りで行うようになったと考えられています。漁の安全と恵みを祈るものとして、また、家、土地、船を守り、神を讃える神聖な季節の行事として定着し、昭和初期までは、門付けの三番叟や戎舞が淡路の各家を回り神棚の前で幸せを祈っていました。二五七〇年、宮中紫宸殿で三社神楽を奉納した引田源之丞が繪旨を賜り従四位下に叙せられたと伝えられています。

最盛期の十八世紀初めには四十以上の座本が覇を競い、人形役者が千人もおり淡路島のみならず日本全国を巡業し、各地に人形芝居を伝えました。大阪に出て「文楽」を創始した植村文楽軒も淡路出身です。文楽と異なり野掛け舞台だったため大きな人形、大きな動作となり、時代物を得意とし、早替りや道具返し、衣装山など淡路独特の演出や演技も派手でケレン味が尊ばれ、気軽に楽しめるという人形芝居本来の雰囲気を残した外題も多く、女性の座員も活躍する舞台は華やかです。



戎舞

えびすまい

釣竿を担いで庄屋の家にやってきた戎さま。庄屋はお神酒を出してもてなします。盃を飲み干した戎さまは、自分の生まれや福の神であることを話しながら舞い始めます。海の幸、山の幸を前にみんなの願いをかなえようと、さらにお神酒を飲み酔った戎さま。

船に乗り、大きな鯛を釣り、めでたし、めでたしと舞い納めます。

傾城阿波の鳴門

けいせいあわのなると

十郎兵衛・お弓夫婦は、とあるものを探し出すため、名前を変え盗賊の仲間に入っていました。そんな二人の隠れ家に順礼の娘が訪れます。話を聞くと、なんと自分の娘のおつるであることが分かります。今すぐ抱きしめ母と名乗りたい、でも盗賊の罪が娘に及んでしまうと、お弓は泣く泣くおつるを追い返します。しかし、このまま別れてはもう二度と会えない!と思ひ直し、急いでおつるのあとを追いますが…。



公益財団法人淡路人形協会 淡路人形座

一九六四年に吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、興行を始めた淡路人形座は常設館である淡路人形座で毎日公演する一方、国内外への出張公演、学校への出張講座、小学校、中学校、高校、子供会活動の後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会の協力など、伝統人形芝居の普及、発展のための活動も積極的に行っています。

淡路人形座 公式サイト

<https://awajiningyoza.com>



淡路人形座

入場料 全席自由 ※未就学児の入場はご遠慮ください

一般／前売り 1,500円 当日 2,000円
高校生以下／前売り 500円 当日 700円

Culチャーズ会員価格 Culチャーズ会員特典

一般／1,350円 先着10名様を本公演に無料ご招待
高校生以下／450円 ※11月15日(火)までに、高知市文化振興事業団にお申し込みください

チケット取り扱い

- ◆ ローソンチケット (Lコード63487)
- ◆ チケットぴあ (セブンイレブン/Pコード514-772)
- ◆ 高知県立美術館ミュージアムショップ (088-866-7653)



【とさでん交通電車】
棧橋車庫前(自由民権記念館前)下車
【とさでん交通バス】
棧橋通 4丁目下車

駐車場
約60台

高知市立自由民権記念館【民権ホール】

製作/公益財団法人淡路人形協会
主催/公益財団法人高知市文化振興事業団

お問い合わせ

公益財団法人高知市文化振興事業団 TEL:088-883-5071 <http://www.kfca.jp/kikaku>